

追加注文

データベースを操作できるようになりましたが、その他にも多くのことが可能です。

以下に例をいくつか挙げます。

集約

集計を使用すると、データベース内の製品の合計数量など、グループ化された結果を取得できます。

```
db.CollectionName.aggregate([{$match:{ ilter}},{$group:
  {$_id:"$nameProperty1",randomName:{$aggregator:"$nameProperty2"}}});
```

- \$match を使用すると、取得したデータをフィルタリングできます。
- \$group を使用すると、このデータをグループ化できま
- す。 \$nameProperty1 を使用すると、各グループの共通点を示すことができます。randomNameは、結果に付け
- る名前です。 \$aggregator は、最終結果に影響するプロパティです。 \$nameProperty2
- は、アグリゲータによって影響を受けるプロパティです。
-

しかし、より理解を深めるために、公式ドキュメントに示されている例を以下に示します。

```
db.orders.aggregate([{$match:{size:"medium"}},{$group:{_id:"$name",totalQuantity: {$sum:"$quantity"}}});
```

この例では、ミディアムサイズに一致するすべてのピザの注文を検索します。

次に、それらを「名前」でグループ化し、「数量」の「合計」を作成した「totalQuantity」という名前でクエリの結果を表示します。

これにより、名前順に並べられたミディアムサイズのピザの合計数を取得できます。

「\$sum」以外にもたくさんの演算子がありますが、それらは公式ドキュメントに記載されています。

輸入輸出

他のデータベースと同様に、データベースをバックアップして復元できれば便利です。

このために、次の 2 つの方法を使用します。

```
# mongodump
-u ユーザー名をエクスポートする
```

```
# mongorestore
をインポート -u ユーザー名
```

これらのコマンドは、BDD に接続せずに実行する必要があります。

mongodump はコンテナの「dump/」フォルダにバックアップ フォルダを作成します。

残っているのは、データを回復するためにマシンにコピーを作成することだけです。

データベースをインポートするには、復元ファイルをコピーして同じ「dump/」フォルダーに貼り付け、 mongorestore コマンドを入力するだけです。

もちろん、多くの選択肢と可能性があります。詳細はドキュメント。